



花かつみの里 2024



No. 43

令和7年度教育課程についての説明

【運動会の春実施】

運動会は、本番での運営・競技も大切だとは思いますが、それ以上にそこまでの準備や練習の過程に教育的意義があると考えます。

6年生は、中心となって運営に関わり、責任のある仕事を任されることで、学校全体のリーダーとしての自覚をもちます。

1年生は、いっしょに練習に参加することにより、上級生の姿からたくさんのことを学び、小学生になったことの意識が芽生えます。

2年生は1年生のお手本となるように、3年生は下学年のリーダーとして、4年生は下学年から上学年の仲間入りしたこと、5年生は高学年として学校全体に関わることなど、1つ学年が上がったことを喜び、意欲的に活動することができます。

運動会に向けて心をつにすることで、学校づくりができると考えます。

それが、春実施の教育的意義です。

【評価の2期制】

学習の評価は、1年間をスパンとして子どもの成長をとらえることが基本です。

ですから、学期ごとの評価ではなく、1年を通しての評価が本来の評価となります。

ですから、10月は中間評価(通知票配付)であり、3月がその学年の最終評価(通知票配付)と考えてください。

評価を3期制から2期制にすることで、下記のようなメリットがあります。

- ① 学期ごとの評価がなくなることで、学期末(7月・12月)も落ちついた雰囲気です。授業を進めることができる。学習内容が進み、学力も定着する。
- ② 評価スパンが長くなることで、一時的な頑張りや評価が変わるのではなく、十分な資料をもとに多面的に子どもをとらえることで、よりの確かな評価を行うことができる。

令和6年度の郡山市立学校の状況(小学校49校・義務教育学校2校)は次の通りです。

評価2期制 ⇒ 24校

評価3期制 ⇒ 27校



なお、令和7年度は、全保護者対象の「教育相談」に加え、希望する保護者を対象とした「教育相談」を12月に新設します。

お子さんの学習状況や学校生活の様子を、より詳しくお伝えできると考えています。

【学習発表会】

保護者アンケートにおいて、「以前実施していた学習発表会を復活してほしい」といった意見を複数いただきました。

子どもたちの活躍や発表の機会を期待している保護者様が多いことを知り、校長としても大変ありがたく感じています。

ただ、下記の理由から、以前のような全校生が集まっての学習発表会の開催ではなく、11月に「土曜参観」として上学年と下学年で発表の時間をずらして、学年ごとの「学習発表会」を考えています。

- ① 問題解決的な学習や体験的な学習が重視されている現行のカリキュラムでは、子どもたちのやる事が多く、陰のカリキュラム(装飾や練習・準備等)が生じることで、正規のカリキュラム(授業)の進行に影響がある。これ以上の内容を盛り込むと子どもたちに負担をかけることになる。
- ② 発達段階(学年)を踏まえて、学習指導要領の内容を逸脱しない範囲で、発表内容や方法を考えて、学年ごとに発表会を行うことで、保護者は子どもの活躍や発表の様子をより詳しく参観することができる。

ちなみに、「学習発表会」の開催についての郡山市立学校の状況は下記の通りです。

実施していない ⇒ 30校

半日開催 ⇒ 18校

一日開催 ⇒ 1校

その他 ⇒ 2校

